

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年6月29日

施設名	高知県立県民体育館	所管課名	スポーツ健康教育課
-----	-----------	------	-----------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人 高知県スポーツ振興財団
施設所在地	高知市棧橋通二丁目1番53号
業務内容	1 施設の利用の許可等に関する業務 2 施設の利用料金の收受・減免・還付に関する業務 3 施設設備の維持管理に関する業務 4 スポーツの振興に関する業務 5 その他施設の設置目的達成に必要と教育委員会が認める業務
施設内容	1 面積・・・敷地面積10,714.08㎡、敷地面積6,094.00㎡、延床面積(1階5,757.39㎡、2階3,143.77㎡) 2 施設、収容人員等 主競技場(1階3,072席、2階1,572席)、補助競技場(2階)、室内プール(1階)、 大会議室(1階、50人)、小会議室(1階、20人) 3 利用時間・・・8:30～21:00(主競技場、補助競技場、大会議室、小会議室):事前連絡により22:00まで利用可 8:30～21:00(室内プール) 4 休館日・・・12月29日～1月3日
職員体制	常勤職員: 2人 定期職員: 12人 短期職員: 5人 合計: 19人 (平成22年4月1日現在)

2 収支の状況

項目	年度/施設別	20年度(決算)		21年度(決算)		22年度(予算)	
		体育館	武道館	体育館	武道館	体育館	武道館
収入	県支出金(体育館+武道館)	96,981		95,000		94,750	
	使用料・手数料	26,261	6,466	24,668	6,548	24,600	6,840
	その他	0	0	2,649	0	3,220	195
	収入計(体育館+武道館)	129,708		128,865		129,605	
支出	管理運営費	55,554	13,345	54,638	12,984	57,767	16,126
	人件費	44,309	7,928	43,380	7,173	44,895	7,859
	その他	3,468	1,363	3,623	1,441	2,558	400
	支出計	103,331	22,636	101,641	21,598	105,220	24,385
	支出計(体育館+武道館)	125,967		123,239		129,605	

3 利用状況

項目	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	188,611 (マスターズ・障害者大会を含む)	183,715	185,000
②利用者意見等の反映	○利用者の意見や要望を把握するために「ご意見箱」を設置するとともに、スポーツ教室参加者対象にアンケート調査を行い、ニーズの把握に努めた。 ○利用調整会議の充実を図り、利用者ニーズへの対応や業務改善に努めた。		
③その他特記事項	意見等の数: H20年度39件 → H21年度30件		

4 平成21年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保の状況	○法令・事業計画書・仕様書・協定書の内容を遵守し、適正な施設管理が行われた。 ○業務に必要な職員を適正に配置し、特にプール監視の強化により利用者の安全確保に努めた。
②利用者サービスの維持向上の状況	○ホームページによる情報発信や広報誌の発行等により、利用者の確保に努めた。 ○利用者へのサービスとして、備品等用具の準備などを積極的に行った。 ○マナー研修の実施、利用時間延長(プール8:30～20:30→8:30～21:00)等により、利用者の視点に立ったサービスの提供に努めた。
③利用者実績	○利用者数実績は、昨年度に実施されたマスターズ及び障害者大会が行われなかった為、また、催物・興行で利用者側の事情や新型インフルエンザによる大会中止や照明工事等による利用できない期間があり、前年度実績は下回ったものの、利用者の視点に立ったサービスの提供に努めた結果、利用件数は昨年の実績を上回った。 ※平成20年度利用者実績:184,841人→平成21年度利用者実績:183,715人(△1,126人) ※平成20年度利用件数実績:41,135件→平成21年度利用件数実績:44,223件(2,088件増)
④収支の状況	○収入について ・H21年度利用料金収入はH20年度と比較して、1,593千円減少した。 ○支出経費について ・H21年度支出は、H20年度に比べ、1,690千円減少した。
総合評価	昨年度に実施されたマスターズ、障害者大会の反動や上記のとおり利用者側の事情や新型インフルエンザによる大会中止、照明工事等による利用できない期間があったにも関わらず、前年度利用者実績は下回ったものの、利用者の視点に立ったサービスの提供に努めた結果、利用件数は昨年の実績を上回っている。 平成21年度の目標利用者数には達していないものの、諸事情から鑑みると、利用件数は大きく増加していることから、これまで以上に利用促進に取り組んだ成果が現れたものとして評価される。
A	